
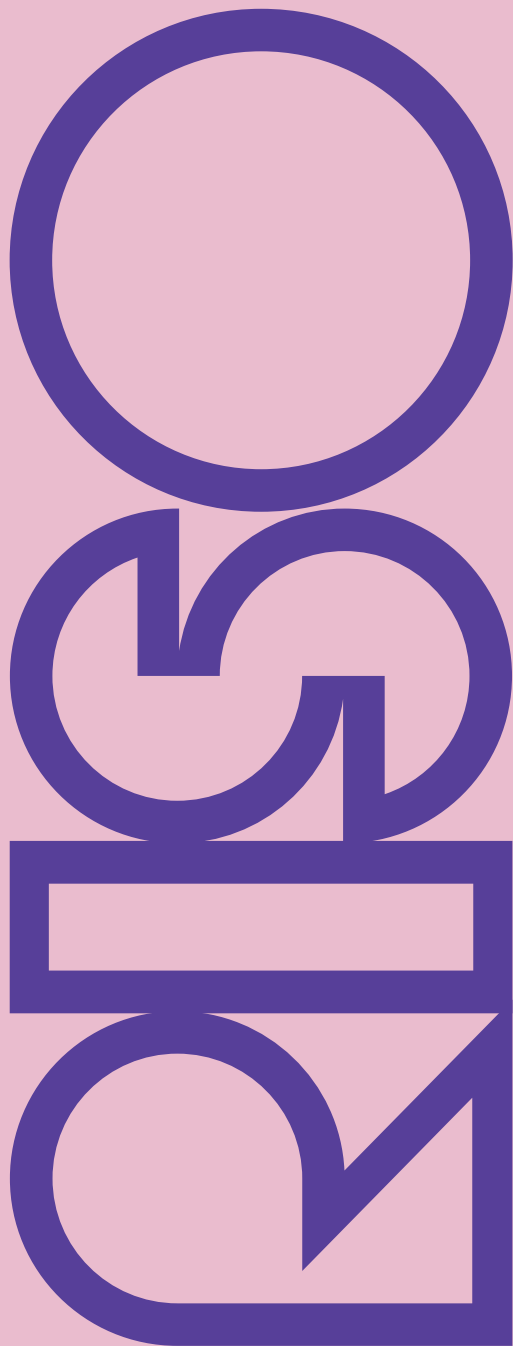


平成15年3月期 中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日

 理想科学工業株式会社

RISO
INTERIM
REPORT



株主・投資家の皆様へ



株主・投資家の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社平成15年3月期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

現在、当社は、5つの基本方針からなる3カ年の中期経営計画「NEW RISO 21」に取り組んでおります。開発、生産、販売活動はもとより、企業活動全般の変革を進め、売上の増強と収益体質の強化を図るもので、最終年の平成16年3月期にROE8%および営業利益率10%の達成をめざしております。

計画の第二年度にあたる当期は、「販売力の強化」に最も重点を置いて活動をしております。

世界的なIT化の進展など、当社の市場をとりまく事業環境は、急速に変化しております。このような環境の中、当社は、中期経営計画を着実に実践して、環境の激変にもいち早く対応し、安定した収益力を発揮する「強い企業」となるために邁進していく所存であります。

株主・投資家の皆様におかれましては、何卒いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長
羽山 明

中期経営計画 NEW RISO 21- Five Keys for Growth

当社グループでは現在、中期経営計画「NEW RISO 21」を推進しています。高収益企業として揺るぎない基盤を確立するために、以下の5つの基本方針に沿って各部門でさまざまなアクションプランを実践しています。

1. 開発・製造部門の効率化とコストダウンの徹底

- コンカレントエンジニアリングを基本に、効率化とコスト削減を図る。
- 海外生産の強化、グローバル調達を通じて効果的な製造コストの削減に努める。

2. 内外営業の収益安定強化

- 販売スキルとソリューション営業の企画力を向上・充実させ、総合的な販売力を強化する。
- 地域・市場に密着したマーケティングを実行し、国内・海外のコア市場における競争力を高めるとともに、販売チャネルの拡大を図る。

3. 新規商品開発およびサービス事業開発の推進

- 孔版テクノロジーを深掘りしコアビジネスを強化、付加価値の高い商品開発を促進する。
- 従来の事業領域にとらわれない自由な発想で、新ビジネスの創出を推進する。

4. 海外生産の積極展開

- 海外生産体制を強化し、総合的なコスト削減に取り組む。

5. 無駄のない筋肉質の企業体質への転換

- 自律した組織運営への転換を推進し、社員のコスト意識を高めるとともに、より積極的な事業への取り組みを促す。

LBPとの連携機能を持った リソグラフRP255α新発売

高速・多枚数プリンターの新製品「リソグラフRP255α」を発売しました。

同機は、原稿をセットし印刷枚数を指定するだけで、ネットワーク上のプリンターから最適な機種（リソグラフまたはLBP<レーザービームプリンター>）を選択し、印刷の指示・実行ができるB4判高速デジタルプリンターです。

1枚から少枚数は「Prinoa」（LBP）、多枚数なら「リソグラフRP255α」で印刷と、LBP方式の利点とデジタル孔版印刷方式の利点を融合させた、高速・低ランニングコストの印刷システムを構築できます。

LBPとの連携機能は、従来「RPシリーズ」の上位モデルにのみ設定されていました。「リソグラフRP255α」の発売により、対象機種を拡大し、ラインアップの充実を図っていきます。



リソグラフRP255α

リソグラフ用の大豆インク 「RISO SOYインクRP」を値下げ

RISOプリンターやリソグラフ用の大豆インク、「RISO SOYインクRP（ブラック）」の価格を8月から従来タイプのインクと同価格に値下げしました。

「RISO SOYインクRP」は、昨年11月、当社が業界に先駆けて開発・販売を開始したインクで、植物性油脂（大豆油）を利用した環境負荷の低いインクです。また、同製品は、アメリカ大豆協会（ASA: American Soybean Association）が定める基準以上の大豆油を含有しており、ソイシール（CONTAINS SOYOIL）の認定を得ています。

当社では、より多くのお客様にご利用いただけるよう積極的に拡販していきます。



RISO SOYインクRP

「理想環境用紙100」に カラー用紙が新登場

古紙配合率100%の再生紙「理想環境用紙100」に、新たにカラー用紙を追加し、本年7月より販売を開始しました。カラーはクリームとピンクの2色、紙の厚さはそれぞれ厚口と特厚の2種類、サイズも各A3/B4/A4を用意しています。

「理想環境用紙100」カラー用紙は、エコマーク、グリーンマーク認定の古紙配合率100%の製品です。紙の腰が強く、インクののりがよい紙で、RISOプリンターやリソグラフ用の印刷用紙、乾式複写機用紙としての適性に優れています。社内資料・マニュアルなどの表紙、リーフレットや価格表などの印刷にはもちろん、ベタ刷り面が多いチラシやポスター、薄手のチケットなどの印刷にも効果的にご利用いただけます。

グリーン購入など環境保全への取り組みを積極的に進めている、官公庁、学校、民間企業に向け「理想環境用紙100」シリーズと合わせて、同製品を積極的に拡販していきます。



「理想環境用紙100」カラー用紙

ISOT2002で、プリントゴッコの 世界を広げる新製品を発表



東京ビッグサイトで行われた
「ISOT2002」

本年7月、東京ビッグサイトで開催された第13回国際文具・紙製品・事務機器展「ISOT2002」に出展。プリントゴッコの新色インクをはじめ、カード

づくりの楽しさを広げる新製品を実演を交えて紹介し、来場者の注目を集めました。

キラッと輝くパールカラーと新和風感覚の色調が特長の「理想ハイメッシュインク パールカラー和風」(4色)、塗って乾かすだけで文字やイラストをつやつやコーティングできる「つやビタ」(2種)、ふわふわとしたフェルトのような仕上がりの「ふわビタ」、未年を飾る年賀状用「プリントゴッコ専用イラスト集」(8種)。いずれもオリジナリティあふれる魅力的なカードづくりを応援する新アイテムです。



理想ハイメッシュインク パールカラー和風

経営実績—当中間期の概況

当中間期の当社グループは、中期経営計画を達成すべく様々な活動を行ってまいりました。

国内市場では、ネットワーク環境下で1枚から多枚数までの低ランニングコスト印刷用途を提案してきた「αシリーズ」を中級機種まで拡大いたしました。また、世界規模で重要度が増している環境保全にも積極的に取り組みを進めています。植物性油脂(大豆油)を利用したリソグラフ用インク「RISO SOYインクRP」の価格を改定、従来タイプのインクと価格差をなくし、多くのお客様に導入いただけるよう積極的に販売いたしました。

一方、海外では、中国の合弁会社において生産している低価格印刷機「RISO KS500」を本格的に新興成長市場向けに投入いたしました。さらに、一体型同時2色印刷機「RISO V8000」を第二四半期より欧米市場に投入、販売力強化に努めました。

以上のような活動の結果、当中間期の売上高は、386億4千1百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

当中間期の販売実績を地域別に見ますと、国内では、事務用印刷機部門のハードは苦戦しましたがサプライが堅調に推移し、売上高は183億円(前年同期比1.5%増)となりました。

米州は、北米では競争激化の影響を受け、中南米では通貨不安のため積極策への展開が果せず、売上高は73億円(前年同期比5.0%減)となりました。

欧州では、フランスやドイツ等の各販売子会社が販売網の強化と、直販体制による販売力の強化に努め、業績は順調に推移いたしました。その結果ユーロ高の影響もあり、売上高は69億円(前年同期比12.6%増)となりました。

アジアでは、販売子会社の業績が順調に推移し、売上高は59億円(前年同期比6.2%増)となりました。

また利益面では、製造のコストダウンや高付加価値商品の売上増に加え、諸経費の圧縮にも努めました。以上のような結果、ユーロ高の影響もあり、当中間期の経常利益は27億5千万円(前年同期比135.6%増)、中間純利益は15億3千9百万円(前年同期比365.5%増)となりました。

通期の見通しについて

当社グループは、「販売力の強化」を今期の最重要課題として注力しております。同時にサプライ生産の集約化や、中国における事務用印刷機ハードウェアの委託生産拡大によるコストダウンに努め、高収益化実現に邁進する所存であります。

国内につきましては、簡易印刷機プリントゴッコは厳しい状況が続きますが、事務用印刷機リソグラフ関連は堅調なサプライ販売に支えられ、全般的に前期と同水準で推移するものと予想しております。

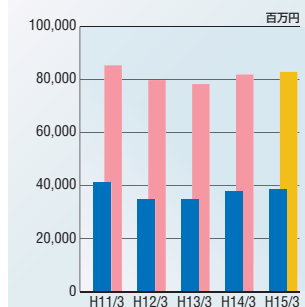
海外につきましては、米州で引き続き競争の激化が予想されますが、欧州での販売子会社の好調な業績が持続、中国・アジア市場での低価格印刷機の拡販を主因とする売上増加を想定しております。

通期の業績見通しは、売上高829億円(前期比1.2%増)経常利益59億円(前期比30.0%増)、当期純利益31億円(前期比94.2%増)を予定しております。

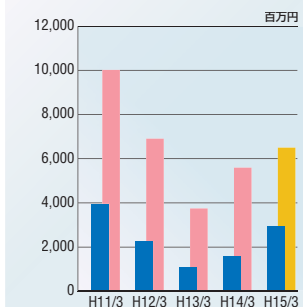
なお、通期業績見通しにおける為替レートは、米ドル120円、ユーロ113円を前提としています。

業績ハイライト(連結)

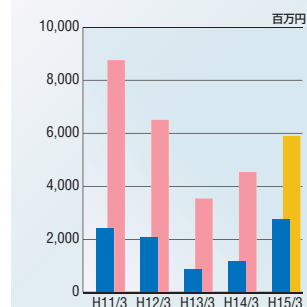
売上高



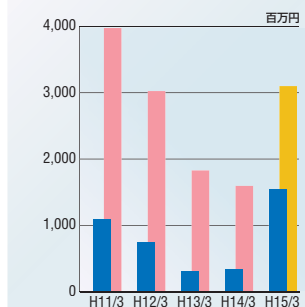
営業利益



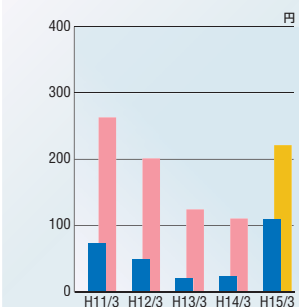
経常利益



当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



凡例:

■ 中間期 ■ 通期 ■ 通期見込

		平成11年3月期		平成12年3月期		平成13年3月期		平成14年3月期		平成15年3月期	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期見込
売上高	(百万円)	41,054	85,365	34,889	79,771	34,842	78,264	37,631	81,906	38,641	82,900
営業利益	(百万円)	3,958	10,017	2,272	6,906	1,089	3,749	1,578	5,595	2,955	6,700
経常利益	(百万円)	2,396	8,758	2,081	6,507	861	3,543	1,167	4,538	2,750	5,900
当期(中間)純利益	(百万円)	1,091	3,975	740	3,025	299	1,828	330	1,595	1,539	3,100
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	72.30	263.20	49.00	201.37	20.38	124.47	22.67	110.71	109.68	221.29

財務諸表の概要 (連結)

貸借対照表

(資産の部) (単位: 百万円)

科目	当中間期	前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日
流動資産	65,836	66,718
現金及び預金	34,031	31,111
受取手形及び売掛金	14,203	17,209
有価証券	1,199	1,798
たな卸資産	12,116	11,729
その他	4,779	5,378
貸倒引当金	△ 494	△ 510
固定資産	40,806	46,646
有形固定資産	30,471	30,092
建物及び構築物	5,878	6,024
機械装置及び運搬具	1,989	2,246
土地	14,898	14,898
その他	7,706	6,923
無形固定資産	1,898	2,004
ソフトウェア	1,069	1,062
その他	829	941
投資その他の資産	8,436	14,550
投資有価証券	3,170	8,915
その他	5,915	6,150
貸倒引当金	△ 649	△ 515
資産合計	106,643	113,364

(注) 有形固定資産の減価償却累計額34,363百万円

POINT 1

投資有価証券

投資信託等を売却したため、減少しました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

(負債の部) (単位: 百万円)

科目	当中間期	前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日
流動負債	25,522	33,032
支払手形及び買掛金	11,873	16,682
短期借入金	6,985	7,930
その他	6,663	8,419
固定負債	20,543	20,169
転換社債	17,153	17,153
長期借入金	358	124
その他	3,031	2,892
負債合計	46,066	53,201
少数株主持分	135	179

(資本の部) (単位: 百万円)

科目	当中間期	前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	33,776	32,969
その他有価証券評価差額金	△ 252	△ 409
為替換算調整勘定	△ 520	△ 152
自己株式	△ 1,455	△ 1,317
資本合計	60,441	59,983
負債、少数株主持分及び資本合計	106,643	113,364

(注) 商法施行規則(平成14年法務省令第22号)の施行により、前期の資本の部を組み替えて表示しております。

POINT 2

受取手形及び売掛金 支払手形及び買掛金

前期末日は銀行休業日のため、未決済分が含まれております。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

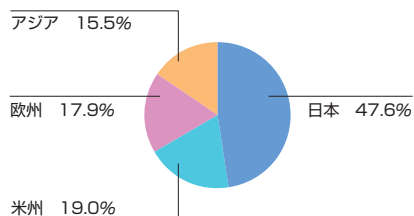
科目	当中間期	前中間期
	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日	平成13年4月1日～ 平成13年9月30日
売上高	38,641	37,631
売上原価	18,037	18,755
売上総利益	20,603	18,875
販売費及び一般管理費	17,648	17,296
営業利益	2,955	1,578
営業外収益	326	277
営業外費用	531	689
経常利益	2,750	1,167
特別利益	—	—
特別損失	—	404
税金等調整前中間純利益	2,750	762
法人税、住民税及び事業税	1,498	900
法人税等調整額	△ 278	△ 495
少数株主損益	9	△ 26
中間純利益	1,539	330

■ キャッシュ・フロー計算書

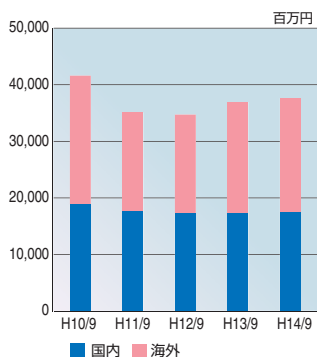
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日	平成13年4月1日～ 平成13年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 580	1,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,501	168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,033	△ 796
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 176	△ 61
現金及び現金同等物の増加額	1,710	1,085
現金及び現金同等物の期首残高	32,454	38,780
現金及び現金同等物の中間期末残高	34,165	39,866

地域別売上高比率(当中間期)



国内・海外売上高(当中間期)



(単位：百万円)

	H10/9	H11/9	H12/9	H13/9	H14/9
売上高計	41,054	34,889	34,842	37,631	38,641
国内	19,034	18,243	18,000	18,132	18,399
海外	22,020	16,646	16,841	19,499	20,242

POINT 3

売上総利益

コストダウン、高付加価値商品の売上増により増大しました。

POINT 4

営業活動によるキャッシュ・フロー仕入債務及び未払金の減少によるものです。

財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部) (単位: 百万円)

科目	当中間期		前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日	平成14年3月31日
流動資産	51,439	51,634	
現金及び預金	31,035	27,169	
受取手形	943	1,526	
売掛金	10,825	13,129	
有価証券	1,199	1,798	
たな卸資産	5,764	5,949	
その他	1,707	2,102	
貸倒引当金	△ 36	△ 40	
固定資産	47,418	52,220	
有形固定資産	28,779	27,779	
建物及び構築物	5,834	5,982	
土地	14,898	14,898	
その他	8,046	6,898	
無形固定資産	1,054	1,087	
投資等	17,585	23,353	
投資有価証券	3,170	8,915	
子会社株式	6,324	6,324	
その他	8,331	8,318	
貸倒引当金	△ 241	△ 204	
資産合計	98,857	103,855	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額32,205百万円

(負債の部) (単位: 百万円)

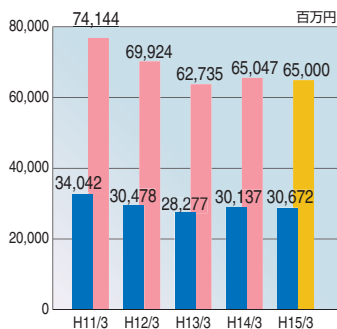
科目	当中間期		前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日	平成14年3月31日
流動負債	15,769	21,952	
支払手形	3,517	5,258	
買掛金	7,491	10,180	
短期借入金	5	5	
その他	4,755	6,508	
固定負債	20,232	20,010	
転換社債	17,153	17,153	
長期借入金	137	119	
その他	2,942	2,737	
負債合計	36,002	41,963	

(資本の部) (単位: 百万円)

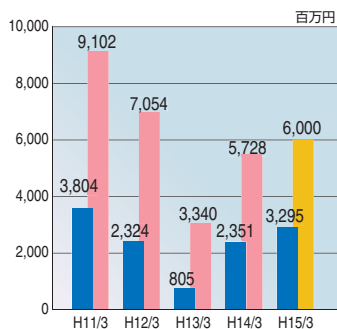
科目	当中間期		前期
	平成14年9月30日	平成14年3月31日	平成14年3月31日
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	35,669	34,725	
(うち中間(当期)純利益)	(1,676)	(1,998)	
その他有価証券評価差額金	△ 252	△ 409	
自己株式	△ 1,455	△ 1,317	
資本合計	62,855	61,892	
負債及び資本合計	98,857	103,855	

(注) 商法施行規則(平成14年法務省令第22号)の施行により、前期の資本の部を組み替えて表示しております。

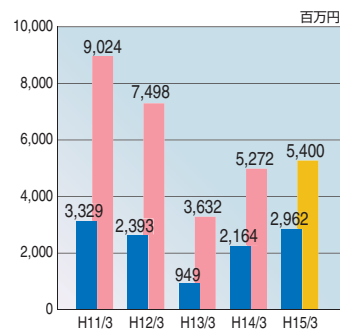
売上高



営業利益



経常利益

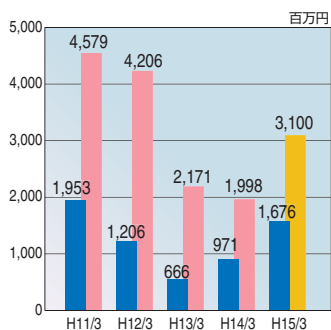


■ 損益計算書

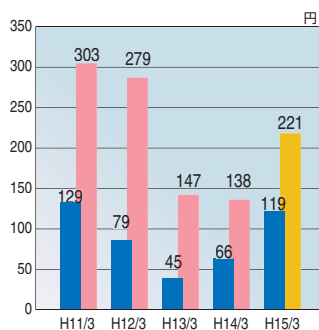
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成14年4月1日～ 平成14年9月30日	平成13年4月1日～ 平成13年9月30日
売上高	30,672	30,137
売上原価	16,468	16,723
売上総利益	14,203	13,414
販売費及び一般管理費	10,908	11,062
営業利益	3,295	2,351
営業外収益	194	264
営業外費用	527	451
経常利益	2,962	2,164
特別利益	－	－
特別損失	－	404
税引前中間純利益	2,962	1,759
法人税、住民税及び事業税	1,427	837
法人税等調整額	△ 141	△ 49
中間純利益	1,676	971
前期繰越利益	3,761	9,668
利益による自己株式消却額	－	172
当期末処分利益	5,438	10,467

当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



凡例: ■ 中間期
■ 通期
■ 通期見込

国内

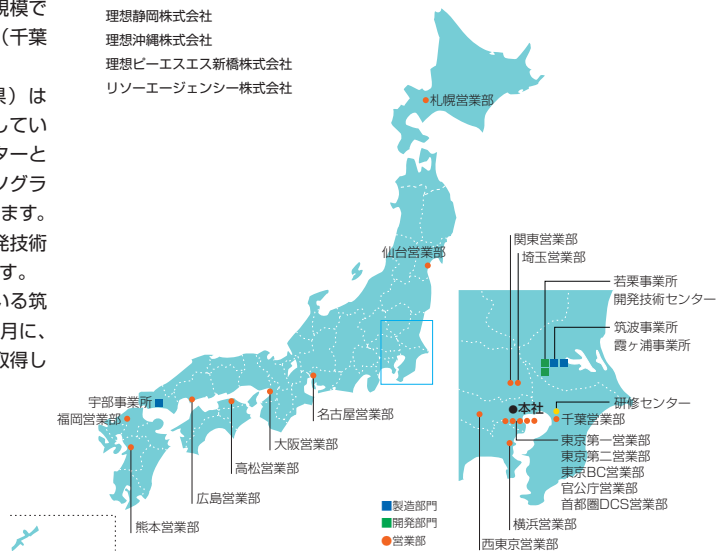
当社の販売ネットワークは18営業部41支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター（千葉県）を中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場（茨城県）はRISOプリンター、リングラフ全シリーズのハードを生産しています。霞ヶ浦工場（茨城県）はリングラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場（山口県）はリングラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に若栗事業所と開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は、平成12年12月に、宇部事業所は平成13年8月に、国際環境マネジメントシステム規格ISO 14001の認証を取得しました。

- ◆国内の主な子会社
- 理想筑波株式会社
- 理想千葉株式会社
- 理想静岡株式会社
- 理想沖縄株式会社
- 理想ピーエスエス新橋株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



若栗事業所



開発技術センター
平成12年、ISO14001 認証取得



研修センター



霞ヶ浦事業所



筑波事業所
平成8年、ISO9002認証取得、
平成12年、ISO14001 認証取得



宇部事業所
平成13年、ISO14001 認証取得

海外

当社は16の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



●海外の主な子会社

RISO, INC.
 RISO CANADA, INC.
 The Corporation of RISO de Mexico, S.A. de C.V.
 RISO EUROPE LTD.
 RISO (U.K.) LTD.
 RISO (Deutschland) GmbH
 RISO POLAND Sp. zo.o.
 RISO FRANCE S.A.
 RISO IBERICA, S.A.
 RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
 RISO AFRICA (PTY) LTD.
 RISO HONGKONG LTD.
 RISO (Thailand) LTD.
 RISO (SHANGHAI) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.
 RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
 RISO KOREA LTD.



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)



RISO AFRICA (PTY) LTD.
(南アフリカ・ヨハネスブルグ)

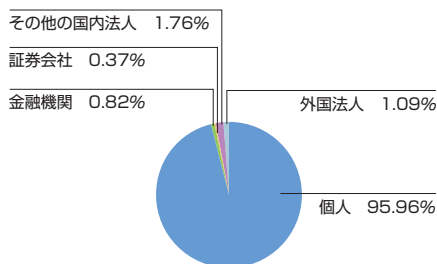


RISO TECHNOLOGY ZHUHAI CO., LTD.
珠海工場 (中国・珠海)

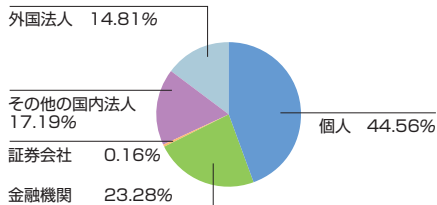
株式の状況 (平成14年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	34,420,000株 (前期末比増減なし)
■ 発行済株式総数	14,526,500株 (前期末比増減なし)
■ 株主数	4,037名 (平成14年3月末比201名減少)

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		
サブアカウントアメリカンクライアント	1,323	9.10
有限会社理想社	1,135	7.81
羽山 昇	942	6.49
財団法人理想教育財団	665	4.58
株式会社東京都民銀行	541	3.73
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	538	3.70
理想科学工業株式会社	517	3.56
理想科学工業従業員持株会	392	2.70
羽山 昭子	352	2.42
羽山 明	330	2.27

■ 自己株式の取得について

商法第210条の規定に基づき、平成14年6月27日開催の定時株主総会において、次期定時株主総会終結の時までに、当社普通株式70万株、取得価額の総額35億円を限度として自己株式を取得することについて承認可決されました。

◎上記授權内容に基づき、平成14年9月30日までに自己株式の取得を下記のとおり実施いたしました。

- ・ 取得した株式数 44,000株
- ・ 取得価額の総額 1,370,560,000円

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館（登記上）
- 連絡先 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号
田町センタービル
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,488,048円
- 従業員数 1,579名
- 連結子会社 25社（国内 7社 海外 18社）
- 役員

取締役会長	羽山 昇
代表取締役社長	羽山 明
取締役副会長	柿澤 國男
専務取締役	野見山 誠一
専務取締役	黒岩 経成
専務取締役	西村 雅夫
常務取締役	原田 種弐
常務取締役	河合 伸雄
取締役相談役	池田 常雄
取締役	川北 博
取締役	酒井 純司
取締役	竹内 佳郎
取締役	高橋 靖宏
取締役	池田 弘之
取締役	神田 恵仁
取締役	斎田 知男
監査役	滝田 納言（常勤）
監査役	山田 弘道（常勤）
監査役	*今村 武彦
監査役	*村上 愛三

(注) *印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

■株主インフォメーション■

株主の皆様用の諸手続きに関する情報が、フリーダイヤルやホームページから24時間入手できます

当社の株式事務を取り扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様の住所変更、配当金振込などの用紙のご請求を、電話およびインターネットのホームページで24時間受付しております。ぜひご利用ください。

● 電話による用紙のご請求

受付フリーダイヤル：0120-87-2031

(操作の方法は、音声案内に従ってください)

- ・ ご請求できる用紙（4種類）

住所変更届	名義書換請求書
単元未満株式買取請求書	配当金振込指定書

● インターネットでも用紙のご請求を受付ております

ホームページアドレス：

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)



※保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 TEL 03(3323)7111 (代表)

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日（中間配当をする場合）
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話(03)3323-7111（代表）
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料）
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>



本中間事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。

 理想科学工業株式会社

本社／〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル